

ひろば

第187号
2013. 7. 1
横浜シルバープラザ

出前イベント



だんらん・さざなみユニットでは、6月26日に出前の昼食をいたしました。

ご利用者様には事前にガスト・釜飯屋さん・お蕎麦屋さんのメニューから、好きな食事を選んでいただきました。メニューを見ながら「どうしようかしら?」「出前まで待ち遠しいわ」と話しておられました。

当日出前が届き、うなぎのひつまぶし、エビフライ弁当、ハンバーグ、オムライスなどの美味しそうな料理を見て「わあ、美味しそう」と歓声が上がりました。うなぎを召し上がった方は「久しぶりにこんなうなぎ食べれて幸せだわ」とか「毎月やってくれるといいのね」など、とても喜んでいただくことが出来ました。

今後もご利用者様に喜んでいただけるようなユニット行事を行いたいと思います。



六月十八日にフルーツバイキングを行いました。



七月の行事食

☆七月七日 く七夕く

七夕にちなんだ昼食とおやつをご用意いたします。

☆七月十三日 くシルバーナイトく

夕食後、カクテルとオードブル、デザ、をご用意して、お待ちしております。

☆七月二十二日 く土用丑く

土用の丑の日にちなみうなぎ玉丼をご用意いたします。

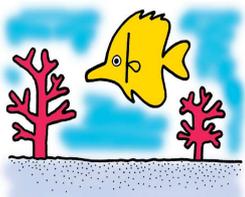


来月の特別食のお知らせ

く2012年8月の特別メニューく

♪夏の味覚を存分に♪(8月10日(土))

- ★季節の前菜
- ★賀茂茄子のみそ田楽
- ★穴子寿司
- ★清まし汁
- ★水菓子



どうぞ、ふるってご利用下さい。

(ご予約は7月29日までに職員まで)

管理栄養士 阿部 あや

通所リハビリテーションだより

先日、職員が昼食を食べていると山からひよっこり狸が下りて来て、窓から中を覗いていたようです。ウッドデッキには沢山のヤマモモが熟し、カラスや小鳥達が食べにやってきました。美味しい匂いをするのでしょうか。シルバーの畑には、たくさん夏の野菜が出来ました。動物に取られないうちに収穫です。

今月の収穫は、ジャガイモ。今年初めてポラントイアさんに植えていただき、沢山採れました。掘ったその日に、じゃがバターと採れたてのきゅうりを入れてポテトサラダを作り皆さんに味わっていただきました。早く食べたくて、調理中の様子と出来上がりを写真に残すのを忘れました!ホクホクで美味しかったです。

六月はとてうれしい出来事がありました。八日(土)施設対抗風船バレー大会に参加し、周辺施設の強豪が集う中、負けず嫌いの土曜日メンバーの本領発揮で見事優勝!トロフィーと賞状、賞品の扇風機を手に皆様、意気揚々と帰ってこられました。やっぱりシルバーの皆様は強い!

施設周囲のいろいろな種類のアジサイや、少しずつ伸びてきたヒマワリが、食べごろの夏野菜が、皆様の来られるのを待っています。今月も休まず来てくださいね。

通所リハビリ介護主任 松井 奈美



【相談室からのご案内】

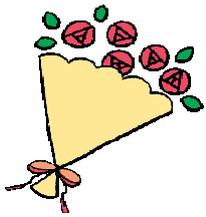
梅雨に入ってから横浜でも、30℃近くまで気温が上がることはありません。衣替えがまだお済みではない方は、衣替えをしていただきますようお願い致します。施設内ではエアコンをかけていますが、共用スペースでは少し肌寒いと感じる方もいらっしゃるかも知れません。そのような時に羽織れる物も用意いただくと、快適に過ごしていただけるかと思えます。

《家族交流会》

五月・六月に二階と三階のユニット家族交流会を開催致しました。色々なご意見や質問をいただきました。一部ですが紹介させていただきます。

Q・リハビリテーションを多くして欲しい。

A・介護老人保健施設のリハビリテーションは原則一週間に二回、二十分程度のリハビリテーションです。短期集中リハビリテーションを利用されている方は三ヶ月間は、一週間に最大五回まで訓練を受けることができますが、三ヶ月を過ぎると一週間に二回になります。機能訓練だけがリハビリテーションではなく、日常生活の中で更衣を自分で行う、歯を磨く、居室から介護士と一対一でリハビリテーションとして捉えたい。



Q・当施設の退所の時期はどう決まるのか。

A・三ヶ月毎に、支援相談員がご家族と今後の方性を確認させて頂き、三ヶ月毎に開催される「入所継続検討会議」で協議しております。ご入所前のご契約時に約款をご説明させて頂きました。約款のページ目をご参照下さい。

他にもたくさんの方の貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見やご質問は今後の参考にさせていただきます。



今月の予定

- | | |
|-----------------|----------------|
| 2日(火) 詩吟クラブ | 22日(月) 手芸クラブ |
| 3日(水) 喫茶 | 23日(火) 売店 |
| 4日(木) 園芸クラブ | 25日(木) 音楽クラブ |
| 7日(日) 朗読クラブ | 26日(金) カラオケクラブ |
| 9日(火) ダイヤモンドヘッド | 27日(土) 理美容 |
| 11日(木) 音楽クラブ | 28日(日) 朗読クラブ |
| 12日(金) カラオケクラブ | |
| 13日(土) ナイトクラブ | |
| 14日(日) 朗読クラブ | |
| 16日(火) 詩吟クラブ | |
| 17日(水) シュリアの会 | |
| 19日(金) 車椅子ダンス | |
| 21日(日) 朗読クラブ | |

コラム

「新春の花 アラカルト」

(前号からの続き)

桃の字は、木に従い兆の声をもつとされ、古代中国で亀の甲を焼いて占いをした時のひび割れの形に基づくという。兆は、分かれるという意味を持ち、生命が分かれて新生する妊娠を象徴としているので、桃という字はこの妊娠信仰の意味を含んでいるともいう。

日本の桜の語源は、コノハナサクヤヒメに由来するという説話は、本居宣長の論説から始まって長らく広く流布している。コノハナサクヤヒメのサクヤは、開光映(さきはや)から転じたもので、これがやがて佐久長となり、サクラの語源になったという説明である。古代日本人にとって、サクラは身近に咲いている樹の花でありながら、実用的には、さほどの重要性を持たなかった。しかし、サクラの持つ属性・花の美しさ、春に先駆けて咲く季節性などは、無形の影響を古代日本人に及ぼしたと想像される。それがなければ、それから後の日本人にとって、サクラの文化があればど花をひらくはずがないのである。その年の気候によって、開花の時期に早晚があらわれるという。

サクラの季節性は、自然と密接な生活をしてきた古代日本人にとって重大な予兆であり、ここから農耕民族になった日本人の祖先には、サクラの神性が起源していった。

サクラの開花は、いろんな農作業の指標として利用されてきた。各地の「自然歴」にそういう例が沢山あげられている。田打櫻といい、サクラが咲けば里人が田を打つということなどもその例であり、それ以外にもアサヤサツマイモの作付けや、ナスの種下ろしと関連している例もある。昔の鎮花祭という神事の歌詞に「トミクサ」という言葉があり、イネの花の別名で稲作の祈願がこめられていて、サクラの花期の長さが、イネ豊作のシンボルである、ということであったという。

当施設のユニットご利用者の森 俊彦様から寄稿いただき、先月号からの続きをご紹介します。ありがとうございます。ありがとうございました。